資料３

平成 26 年度グローバルユースリーダー育成事業
既参加日本青年フォローアップ調査の概要

【調査の概要】

対　　象：平成 26 年度グローバルリーダー事業「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」日本参加青年　106 人（有効回答数　70 人、66%）

調査時期：平成 28 年１月 27 日（水）～２月 22 日（月）（事業実施の概ね１年後）

調査事項：事業実施後の活動の状況、事業への参加による影響　等

調査方法：調査対象者に対し、ウェブサイト上のフォーマットへの回答を求めた。

【調査結果の概要】

①　事業実施後の活動の状況

・　事後活動への参加の状況

事業既参加青年に対し、事業実施後にどのような事後活動に参加しているかを尋ねたところ、１年後の状況としては、事業説明会への協力や、参加した国際交流活動への協力が多かった。

取り組んでいる内容	
事業説明／報告会等の事業参加経験を他者に伝える活動	73%
参加した国際交流事業等の実施への協力（例：広報の実施、ホームステイ受入等）	41%
主に国外を対象とする国際交流活動（例：スタディツアー等）	16%
街おこし等の地域密着型の社会活動	14%
事後活動組織の国内大会（全国大会、地域ブロック大会等）	14%
主に国内を対象とする国際交流活動（例：国際教育支援等）	13%
国内外の災害復興支援（東日本大震災復興支援活動等）	9%
事後活動組織の国際大会	1%
その他	3%

・　各種スキルの向上への取組の状況

事業既参加青年に対し、事業実施後にどのようなスキル向上に取り組んだかを尋ねたところ、英語力の向上、交流対象国の社会や文化に対する学習、日本に対する理解を深めるための学習に取り組んだとの回答が多かった。

取り組んでいる内容	
英語のスキルアップに取り組んだ	70%
事業で交流した国の社会や文化を深く学び始めた。	66%
日本のことについてより理解を深めるために学び始めた	54%
リーダーシップやマネジメント力を向上させるために自己啓発活動に取り組んだ	49%
事業参加後に日本国外でも通用する資格をとった	6%
その他	3%
該当するものはない	6%

・　事業参加後の留学

事業参加後の留学の経験、計画について尋ねたところ、３分の１程度の既参加青年が、留学を経験しているか、留学を計画している。

留学に関する状況	
海外留学を経験した又は現在、海外留学中である	23%
今後、海外留学することを具体的に計画している	11%
該当するものはない	66%

② 事業への参加による影響

・ 人生やキャリアへの影響

内閣府事業に参加したことに対するその後の人生やキャリアに対する影響について、「異文化の人々との仕事や活動の協働において、事業参加経験が役立っている」、「実際に仕事や仕事以外の活動をする上で、事業参加経験が役立っている」などと考えるかについて、6 段階評価（6「非常にそう思う」～1「全くそう思わない」）でどの位置にあるかを質問したところ、以下のとおりの結果となった。参加青年の多くが、事業参加経験が、異文化の人々との協働、キャリア形成、仕事や仕事以外の活動において役立っていると考えていることがわかる。

事業への参加による影響	
異文化の人々との仕事や活動の協働において、事業参加経験が役立っている	5.33
事業参加経験をきっかけに、リーダーシップやマネジメント力が向上した	4.53
仕事の選択等のキャリア形成段階において、事業参加経験が役立っている	4.79
実際に仕事や仕事以外の活動をする上で、事業参加経験が役立っている	4.90
事業参加経験をきっかけに、社会貢献（ボランティア活動等）に取り組むようになった	4.20

・ 人脈の広がり

事業参加青年に対し、人脈の広がりについて、「国際的な人脈・ネットワークが広がった」、「国内の人脈・ネットワークが広がった」と考えるかについて、6 段階評価（6「非常にそう思う」～1「全くそう思わない」）でどの位置にあるかを質問したところ、以下のとおりの結果となった。参加青年の多くが、事業参加が人脈を広げる機会となったと考えていることがわかる。

事業への参加による影響	
国際的な人脈・ネットワークが広がった	5.61
国内の人脈・ネットワークが広がった	5.53

また、同じ事業に参加した外国参加青年と現時点でも交流が続いているか尋ねたところ、全ての青年が事業参加後も交流が続いていると答え、実際の訪問等を行う交流についても、３分の２程度の青年が事業終了後に外国青年を訪問する、外国青年の訪問を受けるといった交流を行っていた。

外国青年との交流	
ソーシャルメディア等インターネット上のやりとりを通じた交流が続いている	96%
事業終了後に外国青年を訪問する、外国青年の訪問を受けるといった交流が続いている	67%

③　今後の進路に対する意識

今後の進路等に関して、「今後、海外に留学してみたい」、「国際的な仕事や仕事以外の活動（ボランティア等）に関わりたい」、「仕事や仕事以外の活動（ボランティア等）において、リーダーシップを発揮したい」などと考えるかについて、6 段階評価（6「非常にそう思う」～1「全くそう思わない」）でどの位置にあるかを質問したところ、以下のとおりの結果となった。全体としては、事業実施直後よりも、意識が弱まっている傾向はあるものの、事業を経験する前と比べると、社会貢献活動やリーダーシップの発揮に対する意識の水準の向上が維持されていることがわかる。

事業への参加による影響	事業実施 １年後 （今回）	事業実施 直後	事業実施 前
今後、海外に留学してみたい	5.13	5.52	5.21
今後、海外で働いてみたい	5.14	5.28	5.04
国際的な仕事や仕事以外の活動（ボランティア等）に関わりたい	5.49	5.47	5.34
地域に貢献する仕事又は仕事以外の活動（ボランティア等）に関わりたい	5.19	5.58	4.81
仕事や仕事以外の活動（ボランティア等）において、リーダーシップを発揮したい	5.24	5.46	4.96